

# 学校改革！教職員の時間創造プロジェクト

～働きやすい環境づくりのために～

ニュースレター

2023年3月



Vo.10

## 第2回 学校改革！教職員の時間創造プロジェクト会議開催

3月9日（木）、第2回プロジェクト会議を開催しました。今年度は、全体会の回数を減らし、職種・校種ごとの分科会を開催することで、それぞれの課題について細かな協議を行ってきました。

今回は、「12月末時点での時間外勤務及び年休取得の実績」「教職員の勤務実態アンケート結果」の報告と、「各分科会で出された意見・要望を受けて」「各課の具体的取組(進捗状況の総括)」「来年度のプロジェクト会議」についての協議を行いました。協議の中では、



- ・働き方改革に対する意識は高まっており、年休も（時間休を含め）以前に比べ取りやすくなっている。
- ・タブレットでの打刻ができるようになり、打刻率が上がった。
- ・学校事務支援室主任会（集合研修）を再開してほしい。
- ・校舎の施錠解錠など、必ずしも教頭がやらなくてもよい業務については、各学校で工夫されている取組の紹介を含め委員会事務局から文書発出を行っていく。
- ・『発出文書事務等の手引き』の作成と周知徹底を行うとともに、文書收受の方法とデータの保存についても協議を進めているところ。
- ・お便り等の配信や欠席連絡のできるアプリの導入や口座登録のWEB化といった教育DXに取り組む。

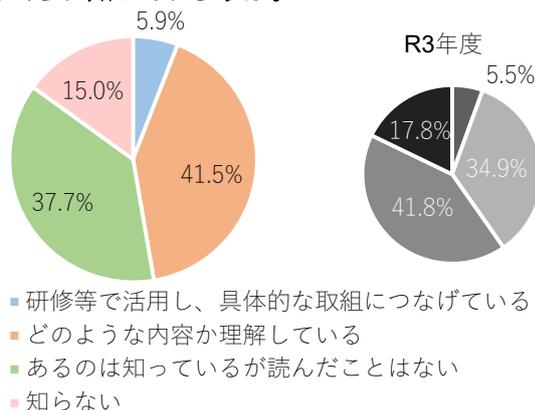
等、意見が出されました。来年度も引き続き、教育委員会事務局と学校代表のメンバーが共に情報共有し協議を行っていくことで、さらなる取組の推進につなげていきます。

## 教職員の勤務実態アンケートについて

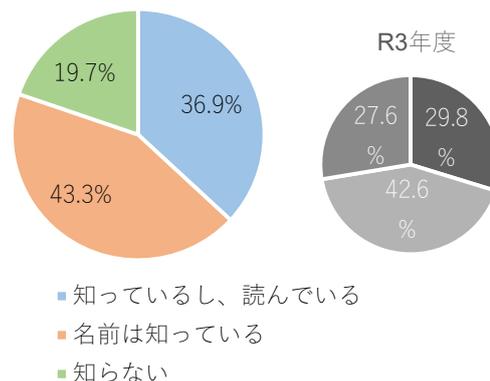
先生方には、教職員の勤務実態アンケートへご協力いただき、大変ありがとうございました。本年度は、全体で3,300人（8割）を超える先生方からご回答いただきました。業務毎の従事時間や負担感など現在の勤務の状況調査とともに、先生方個人の働き方改革の取組やご意見を聞くことができました。

今回は、意識に関する調査項目の中からいくつか結果をお知らせします。

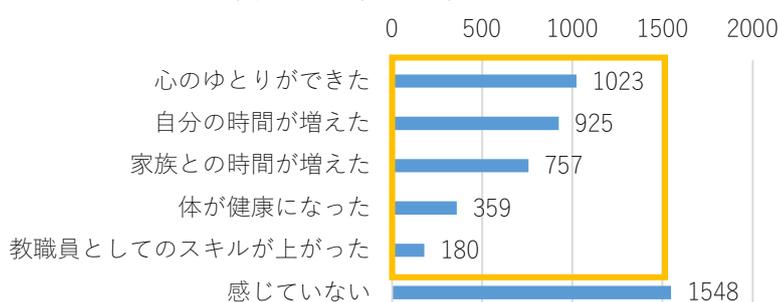
「学校改革！教職員の時間創造プログラム」についてどのくらい知っていますか。



「ニュースレター」について知っていますか。



どのようなことで働き方改革の効果を感じていますか。



「プログラム」「ニュースレター」とともに、昨年度と比べると、周知度が上がっています。また、3,379人中1,831人の方が、働き方改革について何らかの効果を感じられているとお答えいただきました。

アンケート結果の詳細は、今後さらに分析を進め、5月の教育委員会会議報告後、全学校へお伝えします。

# 教職員の時間創造プログラム目標達成状況 (R4.12月末時点)

**目標 1** 正規の勤務時間外の在校等時間が1か月45時間を超える教職員数 0人

**目標 2** 正規の勤務時間外の在校等時間が1年間360時間を超える教職員数 0人

	H29 (2017) 【基準】	H30 (2018)	H31・R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022) 4-12月
<b>45時間超</b>	<b>2,879人</b>	<b>2,856人</b>	<b>2,625人</b>	<b>2,289人</b>	<b>2,294人</b>	<b>2,189人</b>
対29年度増減		-23人	-254人	-590人	-585人	-690人
		-0.8%	-8.8%	-20.5%	-20.3%	-24.0%
教職員総数	4,073人	4,076人	4,079人	4,090人	4,099人	4,098人
45時間超の割合	70.7%	70.1%	64.4%	56.0%	56.0%	53.4%
参考) 4月-12月実績	<b>2,848人</b>	<b>2,822人</b>	<b>2,540人</b>	<b>2,167人</b>	<b>2,224人</b>	<b>2,189人</b>
対29年度増減		-26人	-308人	-681人	-624人	-659人
		-0.9%	-10.8%	-23.9%	-21.9%	-23.1%

	H29 (2017) 【基準】	H30 (2018)	H31・R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022) 4-12月
<b>360時間超</b>	<b>2,731人</b>	<b>2,711人</b>	<b>2,450人</b>	<b>2,042人</b>	<b>2,167人</b>	<b>1,069人</b>
対29年度増減		-20人	-281人	-689人	-564人	-1,662人
		-0.7%	-10.3%	-25.2%	-20.7%	-60.9%
教職員総数	4,073人	4,076人	4,079人	4,090人	4,099人	4,098人
360時間超の割合	67.1%	66.5%	60.1%	49.9%	52.9%	26.1%
参考) 4月-12月実績	<b>1,851人</b>	<b>1,892人</b>	<b>1,714人</b>	<b>830人</b>	<b>1,184人</b>	<b>1,069人</b>
対29年度増減		41人	-137人	-1,021人	-667人	-782人
		2.2%	-7.4%	-55.2%	-36.0%	-42.2%

正規の勤務時間外の在校等時間が1か月45時間を超える教職員の数は、どちらも平成29年度(12月末時点)と比較すると大きく減少していますが、令和2年度からは、ほぼ横ばいの状況です。

また、本年度12月時点で、勤務時間外の在校等時間が1か月平均30時間(年間推定360時間)を超えている教職員の数は、半数を超えています。

働き方改革の取組の成果は一定程度ありつつも、新型コロナウイルス感染症の影響により抑制されていた部活動や学校行事、地域活動等が再開されていることなどが影響しているものと考えています。

今後は、さらに状況把握・分析を行いながら、取組を進めていきます。

**当面の目標** 正規の勤務時間外の在校等時間が1か月80時間を超える教職員数 0人

	H29 (2017) 【基準】	H30 (2018)	H31・R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022) 4-12月
<b>80時間超</b>	<b>804人</b>	<b>742人</b>	<b>497人</b>	<b>285人</b>	<b>285人</b>	<b>215人</b>
対29年度増減		-62人	-307人	-519人	-519人	-589人
		-7.7%	-38.2%	-64.6%	-64.6%	-73.3%
教職員総数	4,073人	4,076人	4,079人	4,090人	4,099人	4,098人
80時間超の割合	19.7%	18.2%	12.2%	7.0%	7.0%	5.2%
参考) 4月-12月実績	<b>791人</b>	<b>727人</b>	<b>479人</b>	<b>263人</b>	<b>271人</b>	<b>215人</b>
対29年度増減		-64人	-312人	-528人	-520人	-576人
		-8.1%	-39.4%	-66.8%	-65.7%	-72.8%

正規の勤務時間外の在校等時間が1か月80時間を超える教職員の数は、取組開始時から年々減少しています。また、今年度12月末時点で勤務時間外在校等時間が80時間を超える月があった215人中、118人の方は1月のみの超過であることから、当面の目標の達成には近づいていると感じられます。

**目標 3** 教職員1人あたりの年休の年間平均取得日数 16日以上

	H29 (2017) 【基準】	H30 (2018)	H31・R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
<b>平均取得日数</b>	<b>11.9日</b>	<b>11.5日</b>	<b>10.9日</b>	<b>10.1日</b>	<b>12.2日</b>	<b>14.7日</b>
対29年度増減		-0.4日	-1.0日	-1.8日	0.3日	2.8日
		-3.4%	-8.4%	-15.1%	2.5%	23.5%

令和2年まで年休の年間平均取得日数は減少していましたが、令和3年から増加に転じています。特に昨年の伸びは著しく、目標達成まであと少しのところまで来ています。各学校・園での取組の成果が大きく表れているものと考えています。

ニュースレターを読んでいただきありがとうございました。来年度は、さらに先生方の取組の参考になるような情報を発信していけるよう、努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

